



豊橋市
予算の
見どころ
令和6年度

(一部抜粋)

育み 成長を支え
未来を拓くまちづくり予算

■ 子育てしやすい環境づくり



経済的負担の軽減や子育て支援サービスを拡充し 子育てしやすい環境づくりを進めます



高校生世代までの医療費の無償化や保育料の無償化などの経済的負担の軽減に加え、1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービスや、市役所キッズスペースでの来庁者向け託児サービスの実施などの子育て世帯向けのサービスの充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりを推進します。

経済的負担の軽減

◆ 医療費の無償化

受給者証提示で
「窓口負担なし」



◆ 保育料等の無償化・軽減

年収360万円未満相当世帯第1子

「保育料の無償化」

所得制限のない第2子以降

「保育料の無償化」

「副食費助成・無償化」



サービスの充実

◆ 市役所キッズスペースでの来庁者向け託児サービス

◆ 1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービス



ポイント

1. 高校生世代までの医療費の無償化

18歳到達年度末までの通院及び入院に係る医療費（保険診療の自己負担額）を全額助成します。

2. 保育料等の無償化・軽減

年収360万円未満相当世帯の第1子及び18歳未満第2子以降の保育料の無償化をはじめ、第2子の副食費助成及び第3子以降の副食費無償化など、市独自の保育料等の負担軽減を実施します。

3. 市役所キッズスペースでの来庁者向け託児サービスの実施 **拡充**

市役所本庁舎東館1階のキッズスペースにおいて、保育士による託児サービスを利用時間を拡充して実施します。

・託児利用時間の拡充 9時半～15時 → 9時～15時

4. 1歳未満の子育て世帯向け家事代行サービスの実施

1歳未満の子どもを育てる世帯を対象に、民間事業者の家事代行サービスを1回（2～3時間）500円で6回まで利用できるクーポンを配布します。

事業費

事業費 20億3,276万円

軽減額 2億2,359万円

お問い合わせ

子育て支援課[1,3,4]

(0532) 51-2335・2382

kosodate@city.toyohashi.lg.jp

保育課[2]

(0532) 51-2309・2316

hoiku@city.toyohashi.lg.jp





小中学校の給食費を半額軽減し 子育て世帯を全力応援します

学校給食費の半額を市が負担することを通して、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりを推進します。



ポイント

1. 学校給食費の半額軽減 **新規**

市立小中学校及びくすのき特別支援学校（小・中学部）の児童生徒を対象に、学校給食費の半額を市が負担します。

軽減額

小学生：1食当たり 150円（1人当たり年間約28,000円）
中学生：1食当たり 175円（1人当たり年間約32,000円）

2. 学校給食費負担軽減対応補助金 **新規**

学校給食費の半額軽減にあわせて、食物アレルギー等で給食を喫食していない児童生徒の保護者等に対して学校給食費の半額軽減相当額を助成します。

対象

- ①食物アレルギー等により、豊橋市が提供する学校給食ではなく、持参した弁当を喫食する児童生徒の保護者
- ②市内在住の市立以外の小中学校等に通う児童生徒の保護者

補助額

小学生：1人当たり 月額 2,500円
中学生：1人当たり 月額 2,900円

事業費

事業費 2,000万円
軽減額 7億5,200万円

お問い合わせ

保健給食課

(0532) 51-2821

hokenkyushoku@city.toyohashi.lg.jp

■ 学校体育館等への空調整備



市立小中学校はじめ76校の体育館等への 空調設備の整備に着手します

子どもたちが安心して活動できる教育環境を整備するため、市立小中学校はじめ76校の体育館等への空調設備導入に向け、調査等を実施します。



ポイント

1. 事業概要 新規

施設の規模や構造、立地条件のほか、地球環境や防災面にも配慮しながら、最適な整備要件の調査等を行い、空調設備の導入に向けた準備を進めます。

【主な調査内容】 空調設備方式、環境負荷軽減、防災機能 など

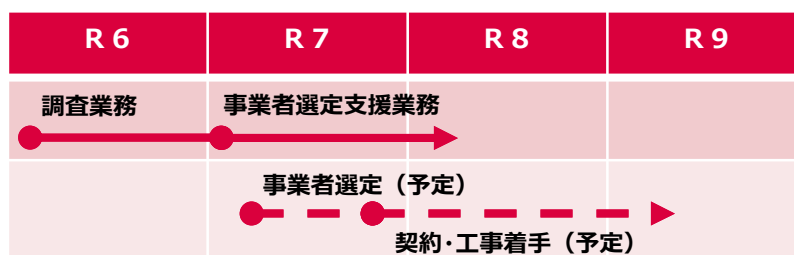
2. 対象施設

小学校 (52校)	体育館
中学校 (22校)	体育館及び武道場
豊橋高等学校	体育館
家政高等専修学校	体育館

全98施設

※くすのき特別支援学校は導入済み

3. 事業スケジュール



事業費

(債務負担行為設定額：2,950万円)

お問い合わせ

教育政策課

(0532) 51-2806

kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



おもてなし電・バスで子育て世帯を全力応援！ 公共交通を利用しやすい環境づくりを進めます

「子どもが騒がないか心配」など、公共交通の利用に不安を抱える子育て世帯が気軽に安心して乗車できるよう、4つのおもてなし施策を通じて利用しやすい環境づくりを進めます。

1st

子育て応援ステッカーでおもてなし

全車両で実施

お子さま連れ 大歓迎

ステッカー例

2nd

電車・バスお出かけ講座でおもてなし

4つのおもてなし施策

3rd

木製つり輪キーホルダーでおもてなし

4th

「絵本の駅」でおもてなし

ポイント

- 1. 子育て応援ステッカーの貼付 新規**
電車・バスの車体や窓に、子ども連れが安心して乗車できるようなメッセージやイラストをデザインしたステッカーを貼り付けることで、乗客全体が寛容な心で受け入れる意識の醸成を図ります。
- 2. 電車・バスお出かけ講座の実施 新規**
乗り方がわからない方も心配ご無用！座学や実技を通して、子ども連れでのお出掛けに自信をつける講座を実施します。
- 3. 木製つり輪キーホルダー製作イベントの実施 新規**
電車の中で読み聞かせを行う人気イベント「おはなしでん」やカーフリーデー等の開催に合わせて、東三河木材を使ったつり輪キーホルダーを製作するイベントを実施し、公共交通への愛着を深めます。
- 4. 「絵本の駅」の継続実施**
電車・バスの待ち時間や移動中の車内などで自由に絵本を読めるよう、本の貸出・返却ができる場所として設置した「絵本の駅」を令和6年度も引き続き実施します。



事業費

248万円

お問い合わせ

都市交通課
(0532) 51-2621
toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp





「学び直し」ができる学校 市高のリニューアルに向けて改良工事を実施します

築53年を経過した豊橋高等学校の校舎長寿命化改良工事に合わせ、相談スペースの充実や新たに多目的スペースを整備するなど、「多様な生徒の学び直しを支援する学校」としての機能を一層充実します。

ともに考え、ともに歩み、ここから



REstart、REstudy



ポイント

1. リニューアル工事の概要 **新規**

建物の耐久性を高める長寿命化改良工事に合わせ、教育環境の充実や地球環境に配慮した施設整備を行います。

総事業費 20億9,090万円

内容 建物の長寿命化、多目的スペースの整備、トイレの洋式化、照明器具のLED化、複層ガラス化 など



2. 「学び直しの場」の充実 **拡充**

多様な生徒への個別指導等を行うスペースなどを拡充し、「学び直しの場」として、きめ細やかな指導・支援をさらに充実させます。

事業費

11億140万円

お問い合わせ

教育政策課
(0532) 51-2806
kyoikuseisaku@city.toyohashi.lg.jp



子育て世帯や高齢者に優しい 西口住宅3号棟の建設に着手します

令和4年5月に完成した西口住宅2号棟に続き、令和6年度から3号棟の工事に着手します。1・2号棟と同様に、子育て世帯用住戸から高齢者用住戸までを整備することで、幅広い世帯に開かれた住宅をめざします。



現在の1・2号棟



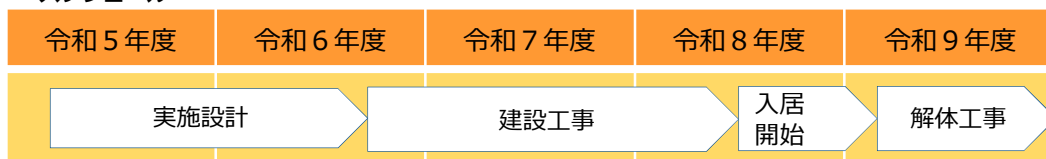
住戸内イメージ写真

3号棟 住戸情報（予定）

所在地	豊橋市高師町字北原
建物構造	鉄筋コンクリート造 7階建
敷地面積	約8,800㎡
延床面積	約5,400㎡

部屋タイプ		戸数
1DK	高齢者用	41戸
2DK	一般・子育て世帯用	57戸
3DK	一般用	6戸
合計		104戸

スケジュール



ポイント

1. 子育て世帯から高齢者まで幅広いニーズに対応 **拡充**

1・2号棟に続き、入居者のニーズに対応した設備を整えます。

入居者のニーズに対応した主な設備	
高齢者用住戸	洋室、浴室、トイレに非常用押しボタンを設置 靴の脱ぎ履きのため、玄関に椅子を設置
子育て世帯用住戸	汚れが落ちやすい壁紙を使用
駐車場	介護者専用の駐車区画を設置

事業費

9億5,430万円

お問い合わせ

住宅課

(0532) 51-2602

zyutaku@city.toyohashi.lg.jp

2. 原則敷地内禁煙を継続して実施

受動喫煙防止、火災予防を引き続き推進するため、1・2号棟で実施した原則敷地内禁煙を3号棟でも実施します。

■ 保育士確保策の拡充



保育士確保のための取組みを拡大します

保育士の負担軽減や人材確保のため、保育士の補助を行う職員の雇用支援や、保育士をめざす学生へ向けた情報発信、特別な支援を必要とする児童の保育環境の整備を行います。

1. 保育補助者の雇用支援



- ▶ 保育士の補助を行う職員（保育補助者）を雇用する園への助成をモデル園で実施

2. 保育の魅力発信



- ▶ 市内の中学生・高校生へ SNSを活用して保育士の魅力を発信
- ▶ 保育士養成校の学生向けに、保育所等見学バスツアーを開催

3. 特別支援保育の拡充



- ▶ 発達の遅れなどにより、特別な支援を必要とする児童を受け入れる保育所等への支援を、年度途中の対象児童数の変動にも対応するよう拡充

ポイント

1. 保育補助者を雇用する法人園への助成を行います **新規**

保育士の負担軽減や離職防止、保育の質の向上を図るため、保育士資格を持たない職員を「保育補助者」として雇用する園に対し、雇用に係る費用を助成します。令和6年度は、法人のモデル園を4園募集し、導入効果を検証します。

施設の利用定員	補助額(上限)	処遇改善加算	保育補助者に対して処遇改善を実施した場合は、市独自に上乗せして助成
121人未満	311万7千円/年	左記金額に1%上乗せした金額を上限に助成	
121人以上	623万4千円/年		

2. SNSを活用して保育士の魅力を発信します **新規**

中高生などの若年層を主なターゲットに、保育士への興味・関心を喚起し、就職したい職業に保育士という選択肢を持ってもらえるよう、SNS（Instagram）を活用し保育士の魅力を伝える動画や写真等の情報を発信していきます。また、県内にある保育士養成校の学生向けに保育現場の見学バスツアーを開催します。

3. 特別支援保育対象児童の年度途中の受入れを支援します **拡充**

特別支援保育の対象児童を受け入れる保育所等に対する、加配保育士配置等への助成について、年度途中の対象児童の増加等への対応についても助成の対象とすることで、保育所等の受入体制を強化し保育士の負担軽減を図ります。

事業費

4億716万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2324・2316
hoiku@city.toyohashi.lg.jp



豊橋市保育士・保育所支援窓口
イメージキャラクター
「ロクちゃん家族」

■ 公立保育所整備事業



つつじが丘保育園（仮称）を令和7年4月に開園します

老朽化した公立の新吉保育園をつつじが丘校区に移転、新築する「つつじが丘保育園（仮称）」整備事業において、令和7年4月の開園に向け園舎の建設工事を進めます。



外観



廊下【さんぽミチ】・中庭【みんなのニワ】



保育室

▲イメージ図

YouTubeでウォークスルー動画を視聴できます ▶



ポイント

1. コンセプトは「風土の中のさんぽミチ」

つつじが丘保育園（仮称）は、「とよはし公共建築 学生チャレンジコンペティション」で選ばれたアイデア「風土の中のさんぽミチ」をコンセプトに取り入れて設計しました。木の温もりにあふれ、四季の変化を感じられる、子どもたちの自発性を育む保育環境を整備します。

2. 保育環境・機能が向上します

多様化する保護者のニーズに対応するため、一時預かり・病児保育機能を併設し、保育サービスの充実を図ります。

事業費

4億1,360万円

お問い合わせ

建築課

(0532) 51-2572

kenchiku@city.toyohashi.lg.jp

保育課

(0532) 51-2316

hoiku@city.toyohashi.lg.jp

つつじが丘保育園（仮称）

移転先	佐藤五丁目地内（つつじが丘小学校隣）
構造	木造2階建
対象児童・定員	0～2歳児・定員80名
併設機能	一時預かり・病児保育



法人保育所・認定こども園のリニューアルを支援します

就学前の子どもが健やかに育つ環境を整えることを目的に、法人保育所や認定こども園が行う施設整備に対して支援します。



施設整備の事例
(園舎や内装等の様子)

ポイント

1. 法人保育所等整備（4園）

良好な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の大規模改修等に係る費用の一部を助成します。

園名	定員	整備内容
ひまわり保育園 新規	180人	大規模改修、改築
東観音寺保育園 新規	50人	大規模改修、改築
柱保育園 新規	220人	大規模改修
岩田こども園	270人	改築（2か年目）

事業費

9億6,071万円

お問い合わせ

保育課
(0532) 51-2324
hoiku@city.toyohashi.lg.jp





教員を強力にサポート！専門性を発揮し 子どもたちが授業を楽しいと実感できる学校へ

学習プリント、通知文の印刷や配布準備、データ入力など教員の事務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を確保するため、小中学校のうち大規模校27校へ教員業務支援員を、「ラーケーションの日」事業の導入により増加する業務へ対応するため、市内全校へ校務支援員を配置します。



ポイント

1. 教員をサポートする支援員の配置

(1) 教員業務支援員 **新規**

教員の負担軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等により注力できる環境を整えるため、学級数が多い小中学校27校へ教員業務支援員を配置します。

データ入力などの事務や、実習授業や行事等の準備補助を行うことで教員をサポートします。

(2) 校務支援員 **新規**

令和5年9月の「ラーケーションの日」の導入により、増加する業務へ対応するため、全小中学校、くすのき特別支援学校及び豊橋高等学校へ校務支援員を配置します。

ラーケーション取得状況の確認、給食の食数確認のほか、印刷などの軽微な事務業務を行うことで教員をサポートします。

ラーケーションの日とは・・・

子どもが保護者等とともに、校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日。

事業費

1億6,505万円

お問い合わせ

学校教育課

(0532) 51-2825

gakkoukyoiku@city.toyohashi.lg.jp

